

期 間 入 札 の 公 告

令和 8年 1月 7日

水戸地方裁判所民事部

裁判所書記官 片 見 光 雄

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8年 1月30日 午前 8時30分から 令和 8年 2月 6日 午後 5時00分まで
開札期日	日 時 令和 8年 2月13日 午前10時00分 場 所 水戸地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8年 3月 6日 午前10時00分 場 所 水戸地方裁判所民事部
特別売却 実施期間	令和 8年 2月16日 午前 9時00分から 令和 8年 2月17日 午後 5時00分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、株式会社商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限(民事執行規則33条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8年 1月 7日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和 7 年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	1, 730, 000 1, 384, 000	一括	346, 000	78, 673	0
1	630, 000				
2	1, 100, 000				



物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 潮来市上戸字芝宿 |
| | 地 番 | 2 1 番 2 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2 3 7. 9 3 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 潮来市上戸字芝宿 2 1 番地 2 |
| | 家屋 番号 | 2 1 番 2 |
| | 種 類 | 店舗 居宅 |
| | 構 造 | 鉄骨造陸屋根 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 1 4 4. 0 8 平方メートル
2 階 1 2 4. 2 1 平方メートル |



物 件 明 細 書

令和 7年11月13日

水戸地方裁判所民事部

裁判所書記官 片 見 光 雄

1 不動産の表示

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

Cが占有している。同人の占有権原の存在は認められない。

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号1】

売却対象外の土地(地番21番6)を通行のため利用している。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実とそれに基づく法律判断に関して、執行裁判所の裁判所書記官の一応の認識を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません(訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります)。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では別ファイルとして備え付けられています。

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|------------------------------------|
| 1 | 所 在 | 潮来市上戸字芝宿 |
| | 地 番 | 21番2 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 237.93平方メートル |
| 2 | 所 在 | 潮来市上戸字芝宿21番地2 |
| | 家屋 番号 | 21番2 |
| | 種 類 | 店舗 居宅 |
| | 構 造 | 鉄骨造陸屋根2階建 |
| | 床 面 積 | 1階 144.08平方メートル
2階 124.21平方メートル |



令和7年（ケ）第39号
令和7年7月18日受理
令和7年9月29日提出
（評価人 河村直行）

現況調査報告書

水戸地方裁判所

執行官 加藤 宏 紀

（注） チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|------------------------|
| 1 | 所 在 | 潮来市上戸字芝宿 |
| | 地 番 | 2 1 番 2 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2 3 7 . 9 3 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 潮来市上戸字芝宿 2 1 番地 2 |
| | 家屋番号 | 2 1 番 2 |
| | 種 類 | 店舗 居宅 |
| | 構 造 | 鉄骨造陸屋根 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 1 4 4 . 0 8 平方メートル |
| | | 2 階 1 2 4 . 2 1 平方メートル |

不動産の表示	「物件目録」のとおり	
住居表示	(住居表示未実施)	
土地	物件 1	
現況地目	☒ 宅地（物件1） ☐ 雑種地（物件 ） ☐ （物件 ）	
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐	
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者（相続財産清算人A） ☐ その他の者（ ） ☒ 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり	
下記以外の建物（目的外建物）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）	
その他の事項	祠がある。	
建物	物件 2	
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点異なる（ ☐ 主たる建物 ☐ 附属建物） ☐ 種類： ☐ 構造： ☐ 床面積：	
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある 種類： 構造： 床面積：	
占有者及び占有状況	☐ 建物所有者 ☒ その他の者（C） ☒ 上記の者が本建物を 店舗・居宅 として使用している ☒ 「占有者及び占有権原」のとおり	
上記以外の敷地（目的外土地）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）	
その他の事項		
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある 地方裁判所 支部 令和 年（ ）第 号 保管開始日 令和 年 月 日	
土地建物の位置関係	☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり

(2枚目)

(占有関係用〈単独〉)

占有者及び占有権原 (物件 2 関係)		
占有範囲	☒ 全部 ☐	
占有者	☐ 債務者 ☒ C	
占有状況	☐ 敷地 ☐ 駐車場 ☐ ☒ 居宅 ☐ 事務所 ☐ 店舗 ☐ 倉庫 ☐	
☒ 関係人(☒ C (占有者) ☒ A (相続財産清算人))の陳述 ☐ 提示文書 () の要旨		
占有権原	☐ 賃借権 ☐ 使用借権 ☒ 無権原	
占有開始時期	昭和58年ころ	
最初の契約等	契約日	令和 年 月 日
	期間	令和 年 月 日から ☐ 令和 年 月 日まで 年間 ☐ 期間の定めなし
更新の種別	☐ 合意更新 ☐ 自動更新 ☐ 法定更新	
現在の契約等	期間	令和 年 月 日から ☐ 令和 年 月 日まで 年間 ☐ 期間の定めなし
契約等当事者	貸主	☐ 所有者 ☐ その他の者 ()
	借主	☐ 占有者 ☐ その他の者 ()
賃料・支払時期等	毎金円 (毎限り分支払)	
	☐ 前払 (分 円) ☐ 相殺 (分 円)	
敷金・保証金	☐ ない ☐ ある (☐ 敷金 円 ☐ 保証金 円)	
特約等	☐ 譲渡・転貸を認める ☐	
その他		
執行官の意見	☒ 上記のとおり ☒ 下記のとおり ☐ 「執行官の意見」のとおり Cは本件建物の前所有者たる亡Bの妻であり、亡Bの占有補助者として本件建物に居住していたところ、亡B相続について相続放棄したため、その占有権原が無権原になったものである。	

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり

(3枚目)

関係人の陳述等	
陳 述 者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■ A弁護士 (亡B相続財産清算人)	1 本件不動産を誰かに貸しているということはありません。 2 本件建物に誰か住んでいるとのことですが、誰が住んでいるか分かりません。 3 本件建物の鍵は管理していません。
■ C (亡Bの妻、本件建物占有者)	1 私は亡Bの妻で、本件建物に住んでいます。 2 亡Bは昭和58年頃に本件建物に転居してきて、私も一緒に住んでいました。 3 本件建物の店舗部分では令和5年10月まで亡Bが個人事業で豆腐店を営んでいましたが、現在は閉業しています。 4 本件建物の店舗部分にある器具類は豆腐製造関連の器具類で、亡Bの物です。現在も使えるかどうかは分かりません。 5 本件建物内では猫3匹と犬1匹を飼っています。 6 本件建物でシロアリを見たことはありません。 7 本件建物2階に雨漏りしている箇所があります。 8 本件建物2階の洗面所は水が出ません。 9 本件土地に境界争いはありません。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(4枚目)

執行官の意見

- 1 本件各物件の状況は、土地建物位置関係図、建物間取図及び添付した写真のとおりである。
- 2 本件建物内では猫3匹と犬1匹が飼われている。
- 3 本件建物1階の店舗部分には豆腐製造関連の器具類が残置されている。
- 4 本件建物2階には雨漏りしている箇所があり、また2階の洗面所は使用できないとのことだった。
- 5 本件不動産の西側に隣接する私道（地番21番6の土地）は本件不動産所有者らが通路として使用している模様である。
- 6 以上から本物件の占有状況については、登記事項証明書の記載及び関係人の陳述、その他現場の状況等を総合して2枚目記載のとおりであると認定した。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(5枚目)

(調査経過用)

調査の経過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和7年7月29日(火)	当 庁	■潮来市役所に公課証明書・家屋平面図・地番集成図の送付嘱託(郵送)
令和7年8月4日(月) 10:20-10:25	物件所在地	■占有調査 ■写真撮影
令和7年8月21日(木)	当 庁	■相続財産清算人から聴取(電話)
令和7年8月25日(月)	物件所在地	■本件建物の占有者宛てに照会文書を差し置き
令和7年9月11日(木) 14:20-15:15	物件所在地	■立入調査 ■占有調査 ■写真撮影 ■Cから聴取 ■評価人同行
年 月 日() : - :		
年 月 日() : - :		
年 月 日() : - :		

(特記事項)

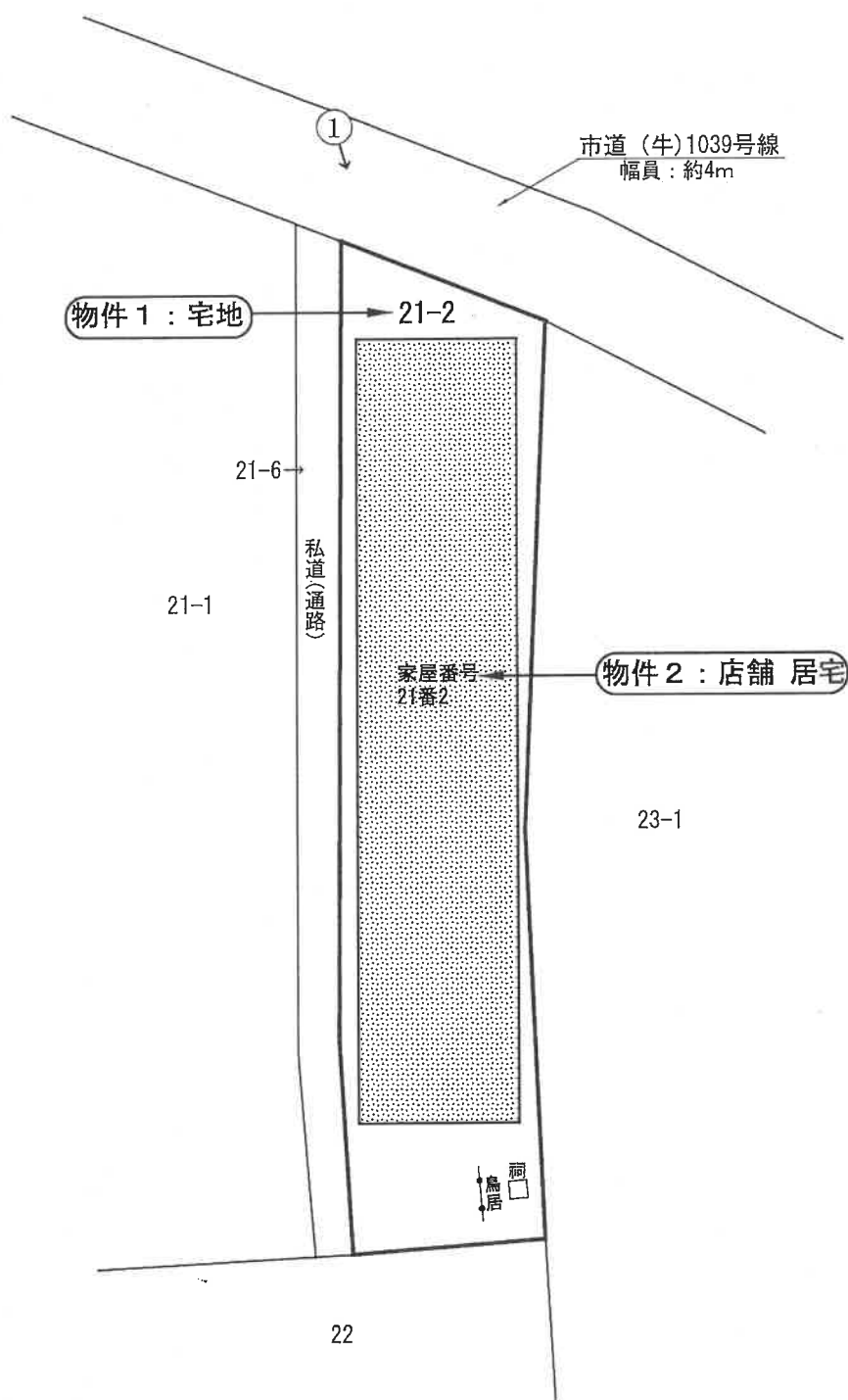
☐ 令和 年 月 日
目的物件は不在で施錠されていることも予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。

☐ 令和 年 月 日
目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。

☐ 令和 年 月 日
休日・夜間執行許可の提示をした。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(6枚目)



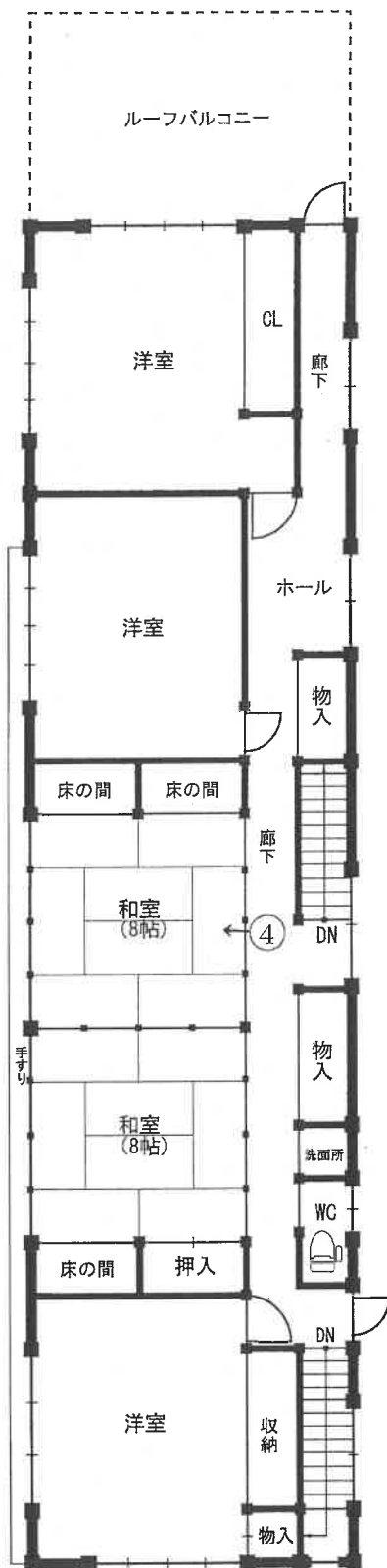
←○写真撮影位置・方向

建物間取略図

物件2:店舗 居宅

【2階】

床面積：124.21㎡（登記）



【1階】

床面積：144.08㎡（登記）



※この図面は間取りの概略を示すものであり、一部、現況と異なる場合があります。

写真番号 1



写真番号 2



写真番号 3



写真番号 4



令和7年（ケ）第 39 号

令和7年 7月28日 受 命

令和7年 9月11日 現地調査

令和7年 9月19日 評 価

令和7年 9月25日 提 出

水戸地方裁判所民事部 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

河 村 直 行 印

第 1 評価額

一 括 価 格	
金 1,730,000 円	
内 訳 価 格	
物件 1 (土地)	金 630,000 円
物件 2 (建物)	金 1,100,000 円

- 1 一括価格は、物件 1・2 の各不動産について、一括売却（民事執行法 6 1 条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件 1 (土地) の内訳価格は物件 2 (建物) のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件 2 (建物) の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第 2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法 5 8 条 4 項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じ

番号	所在等	登記	現況
1	所在地 地番 地目 地積	次頁物件目録記載のとおり	同左
2	所在地 家屋番号 種類 構造 床面積	次頁物件目録記載のとおり	同左
番号	特記事項		

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 潮来市上戸字芝宿 |
| | 地 番 | 2 1 番 2 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2 3 7 . 9 3 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 潮来市上戸字芝宿 2 1 番地 2 |
| | 家屋番号 | 2 1 番 2 |
| | 種 類 | 店舗 居宅 |
| | 構 造 | 鉄骨造陸屋根 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 1 4 4 . 0 8 平方メートル
2 階 1 2 4 . 2 1 平方メートル |

第4 目的物件の位置・環境等

1. 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位置・交通	最寄り鉄道駅：JR東日本・鹿島線「潮来」駅 駅からの方向・距離：北西方へ 約 4.1 km（道路距離） 最寄りバス停留所：鹿行広域バス「芝宿」停留所 西方 約210m	
付近の状況	県道背後に位置し、住宅のほか店舗等も見られる古くからの既成住宅地域。 今後、格別の変動要因はない。	
主な公法上の規制等 （道路の幅員等の個別の規制を考慮しない一般的な規制）	都市計画区分 用途地域 建ぺい率 容積率 その他の規制	市街化区域 第1種住居地域 60% 200% 特になし
画地条件 （形状・規模等）	間口約 8 m、奥行約33m、規模 237.93㎡（登記地積）のほぼ長方形地。 北西側で幅員約 4 mの市道に接面し、道路とほぼ等高、地勢は概ね平坦。 土地の形状・接道状況等は概ね添付の「土地建物位置関係図」のとおりであり、現況地積は登記地積と概ね一致する。	
接面道路 の状況	道路の種類：市道（建築基準法第42条1項1号道路）	
	幅員・系統：約 4 m 系統及び連続性は普通程度	
	舗装の有無：アスファルト舗装有り	
	側道・背面道：なし	
供給処理施設	上水道：あり ガス配管：なし 下水道：あり（未接続） （注）供給処理施設における「あり」とは、対象物件の前面道路に当該施設の本管（以下、施設管という）が通っており、通常で敷地内への引込が可能な状態にあることをいう。「なし」とは、対象物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引き込むことが不可能な場合をいう。 「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理施設を利用している場合や、官公庁での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用できるかどうか不明な場合をいう。	
土地の利用状況等	物件2建物（店舗 居宅）の敷地として利用されている。	
特記事項	① 本件土地の南西側隣地（地番 21番6）は現況通路となっており、物件2の建物（店舗居宅）の南側（玄関）への出入りのため建物占有者等が通行している模様である。 ② 土地上に祠がある。（配置箇所は土地建物位置関係図参照）	

2. 建物の概況及び利用状況（物件2）

区 分	主である建物
建築時期及び経済的残存耐用年数	建 築 年 月 日：昭和57年 3月 5日新築（登記記載） 経 過 年 数：約43.5年 経済的残存耐用年数： 0年（経済的耐用年数満了）
仕 様	構 造：鉄骨造陸屋根 2階建 屋 根：陸屋根 外 壁：ALC板 等 内 壁：クロス貼、ジュラク壁、プリント合板貼、石膏ボード貼 等 天 井：クロス貼、化粧合板貼、竿縁天井、石膏ボード貼 等 床：縁甲板、畳、塩ビシート貼、土間コンクリート 等 設 備：給排水、電気 等 その他：ルーフバルコニーあり
床面積（現況）	1階 144.08㎡ 2階 124.21㎡ 延 268.29㎡ ※登記記録と一致
現況用途等	階 層：地上2階建 現況用途：店舗兼居宅 間 取 り：概ね添付の建物間取略図のとおり
品 等	使用資材：普通程度 施 工：普通程度
保守管理の状態	劣る（計画的な保守管理及び修繕等を行われていない）
建物の利用状況	占有者及び占有権原の詳細は現況調査報告書記載のとおり。 占有者に買受人に対抗できる占有権原はない。
特 記 事 項	① 目視可能範囲内の調査の結果、概ね経年相応の劣化（自然損耗）が生じているほか、全体的に管理不良による損傷部分が多く、雨漏り跡も見られ、全体的に老朽化が進んでおり、今後の利用には大規模な修繕等を要する状態にある。 なお、その他の損傷・不具合箇所は現況調査報告書記載のとおりであり、目視不可能な瑕疵の詳細は専門調査機関による詳細調査を行わないと確定できず、付帯設備は動作確認ができないため、その作動の可否等は不明である。 ② 昭和57年に建築された鉄骨造の建築物であり、建物の構造・建築時期等から、アスベスト含有建材等の使用可能性を否定できない。 なお、詳細は専門調査機関による分析調査を行わないと確定できず、アスベスト含有建材等の使用の有無は不明である。 ③ 建築確認：昭和56年10月12日付、潮特 第 250 号（店舗併用住宅、改築）

(前頁より続く)

特 記 事 項	④ 本件建物の建築面積は144.08㎡で現況の登記地積(237.93㎡)を基準とすると建ぺい率は60%を超過しているが、前記③の建築確認申請時の敷地面積は246.75㎡となっており、建築基準法に適合している。なお、現在と建築確認申請時の敷地面積に差異が生じた原因等は不明である。
---------	--

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

(1) 建付地価格（物件1）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

物件 番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個 別 格 差 イ	地 積 (㎡) ウ	建付減価 エ	建 付 地 価 格(円) ア×イ×ウ×エ
1	8,460	0.900	237.93	0.900	1,630,000

ア 標準画地価格

評価対象地と類似する利用価値を有すると認められる地価公示標準地又は地価調査基準地から比準して次のとおり査定した。

【地価公示標準地：潮来－2】

公示価格等 時点修正 標準化補正 地域格差 標準画地価格
 $7,840 \text{ 円/㎡} \times 100.0/100 \times 100/100.0 \times 100/92.7 = 8,460 \text{ 円/㎡}$

◇時 点 修 正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率（±0.0%）である。

◇標準化補正：増減価要因なし ±0.0%（1.000）

◇地 域 格 差：公示地等と対象地が所在する地域の街路、接近性、環境等の品等比較

街路条件	交通接近条件	環境条件	行政的条件	その他条件	総合（相乗積）
1.030	1.000	0.900	1.000	1.000	0.927

イ 個 別 格 差：0.900（内訳は下記のとおり）

（画地条件）0.900

・形状（間口・奥行の関係）－10.0%（0.900）

ウ 地 積：登記数量を採用した。

エ 建 付 減 価：建物と敷地との適応状態等を考慮し、所要の減価を行った。

(2) 建物価格（物件2）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

物件 番号	再 調 達 原 価 (円/㎡) ア	現 況 延 床 面 積 (㎡) イ	現 価 率 ウ	建 物 価 格(円) ア×イ×ウ
2	250,000	268.29	0.0125	840,000

ア 再調達原価：建物本体に加えて内外外部附帯設備・その他外部従物の新規調達原価を含む

イ 現況延床面積：登記床面積を採用した。

ウ 現価率

経過年数：43.5年、経済的残存耐用年数：0年（経済的耐用年数満了）、残価率：2.5%とした定額法による現価率※（0.0250）と観察減価率による補正（対象建物の現況状態、保守管理の状態、中古建物の市場性等を総合的に勘案し、観察減価率を－50%と査定）を併用して下記のとおり査定した。

$$\cdot \text{現価率} : 0.0250 \times (1 - 0.50) = 0.0125$$

$$\text{※ } 1 - (1 - R) \times n / N \quad \{R : \text{残価率 } n : \text{経過年数 } N : \text{耐用年数(経過年数} + \text{残存耐用年数)}\}$$

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

（１）土地利用権等価格

物件 番号	建 付 地 価 格(円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格(円) ア×イ
1	1,630,000	0.45	法定地上権	730,000

イ 土地利用権等割合

物件2（建物）の土地利用権等を法定地上権と判定し、その割合を45%と査定した。

（２）内訳価格及び一括価格

物件 番号	基礎となる価格 (円) ア	土地利用権等価格 の控除及び加算 (円) イ	占有減価 修 正 ウ	市 場 性 修 正 エ	競売市場 修 正 オ	評 価 額(円) (ア±イ)×ウ ×エ×オ
1	1,630,000	－ 730,000	—	1.00	0.70	630,000
2	840,000	＋ 730,000	1.00	1.00	0.70	1,100,000
一 括 価 格 (合計)						1,730,000

ウ 占有減価修正：（物件2・建物）減価の必要なし。

エ 市場性修正：市場性修正を要する状況及び要因等はない。

オ 競売市場修正：第2 評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

第6 参考価格資料

1 地価公示標準地：潮来－2

所 在：潮来市上戸字芝宿41番3

価 格：7,840円／㎡

位 置：J R 東日本・鹿島線「潮来」駅 4 km

価 格 時 点：令和7年1月1日

地 積：1,054㎡

供給処理施設：水道、下水

接 面 街 路：南西側 5.3m 市道

用途指定等：第1種低層住居専用地域（建ぺい率：40%，容積率：80%）

地域の概要：農家住宅、一般住宅の混在する住宅地域

第7 附属資料の表示

1 物件位置図

2 周辺見取図

3 公 図 写

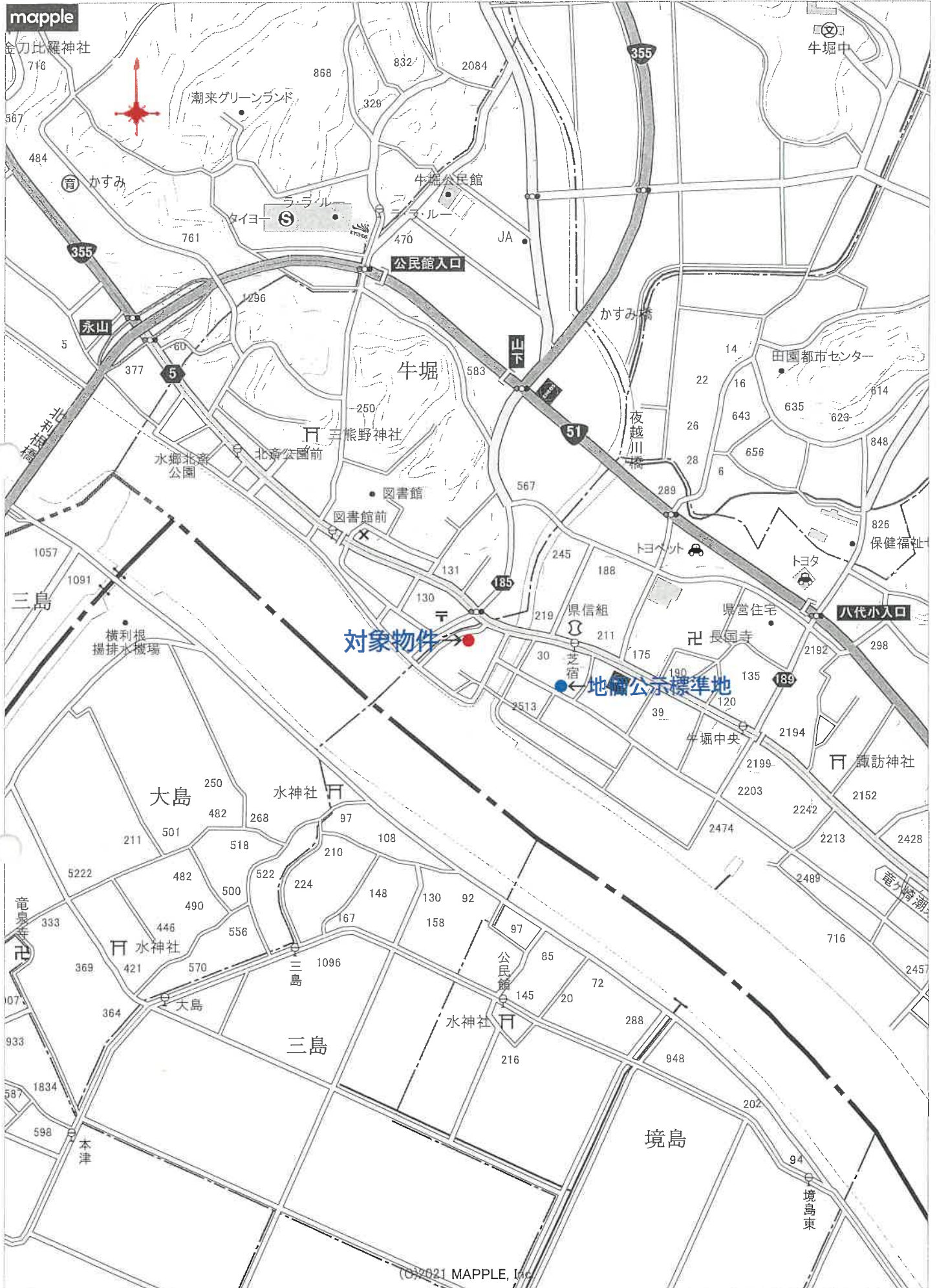
4 建物図面・各階平面図写

5 土地建物位置関係図

6 建物間取略図

以 上

物件位置図



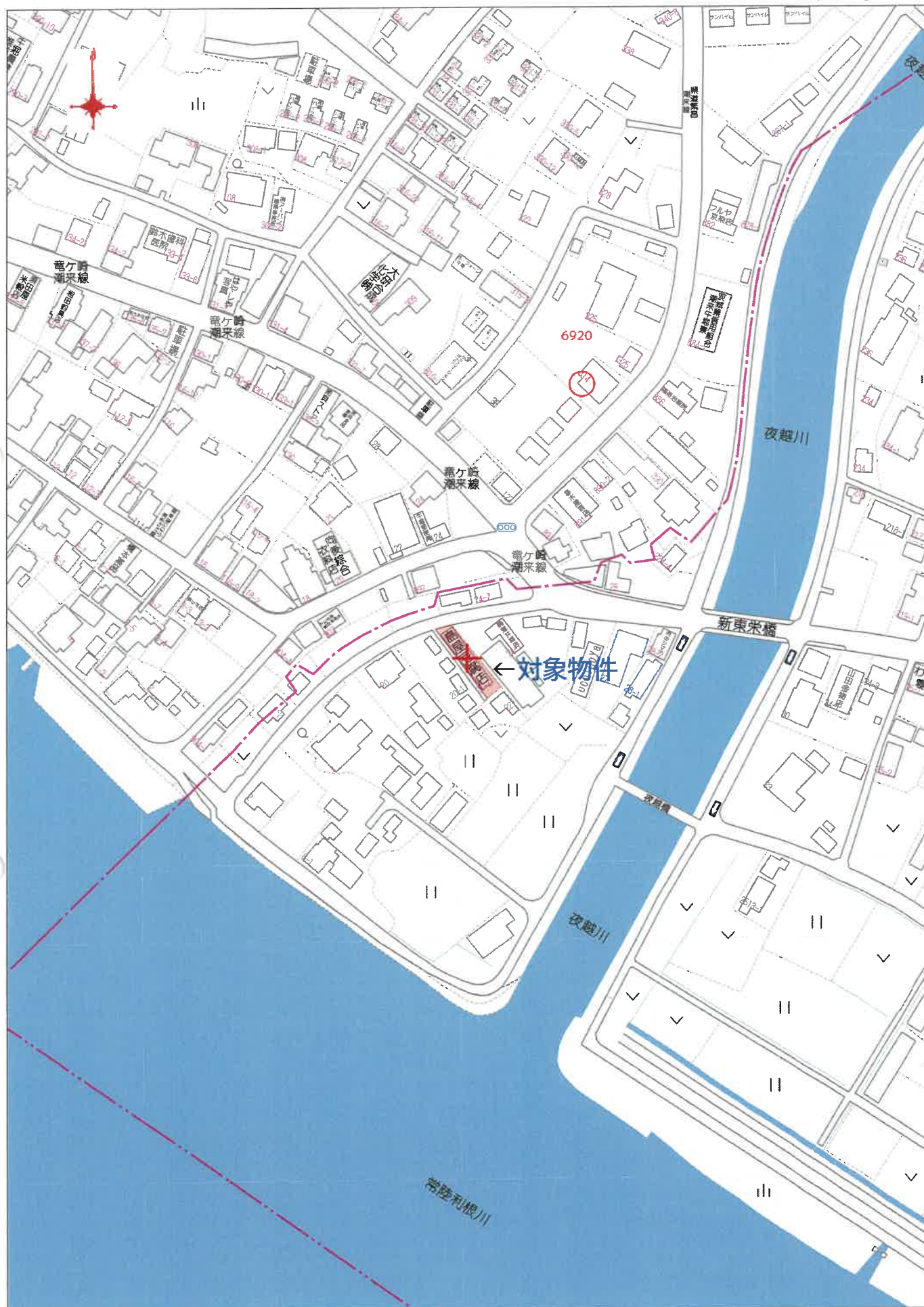
1:10,000 相当

(縮尺 1:10,000)

(株)マップル/スーパーマップル・デジタル

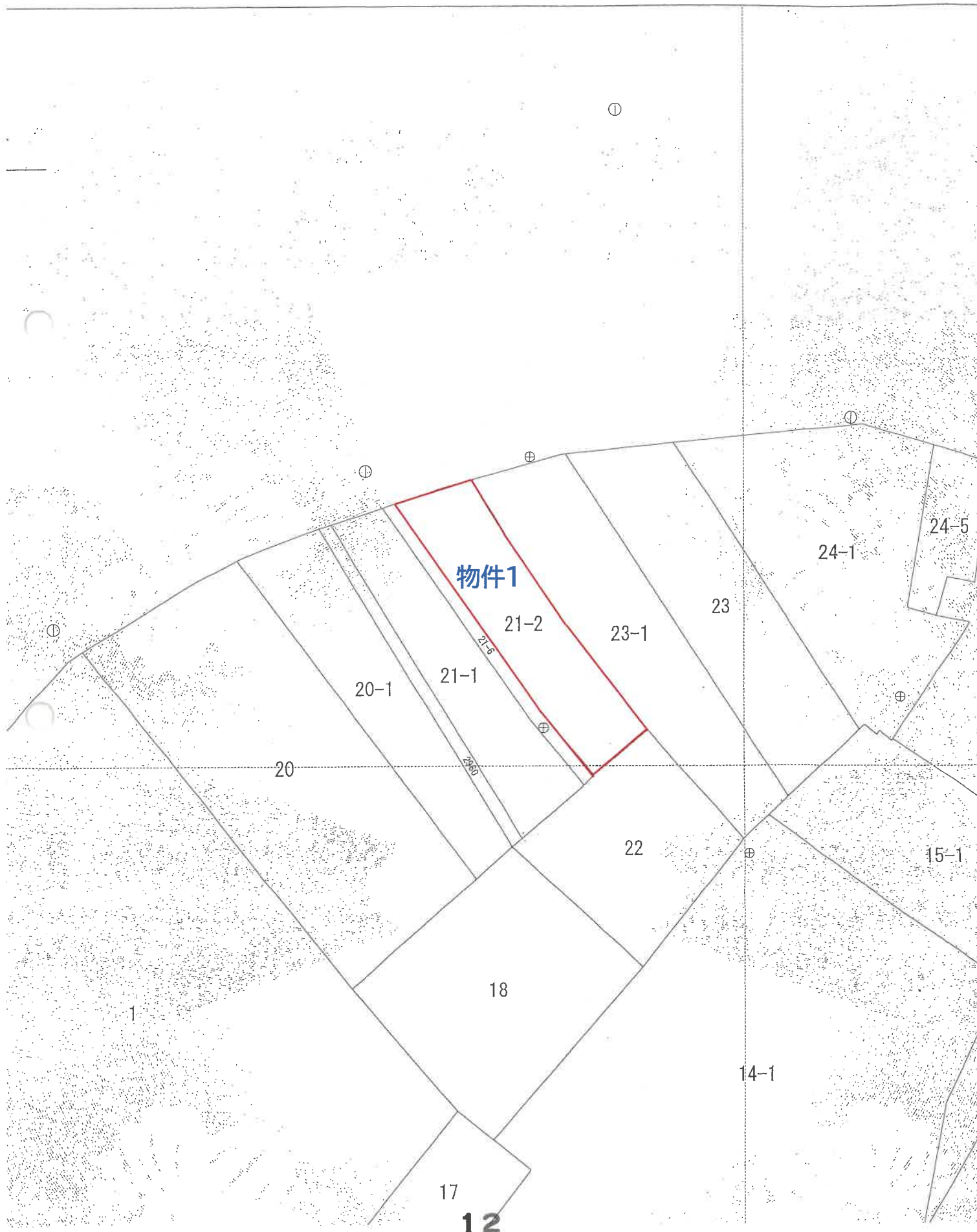
地図上の1センチは約 100 メートル

印刷中心は 東経 140度31分 4秒 北緯 35度57分22秒



80m

(縮尺 1:2,000)



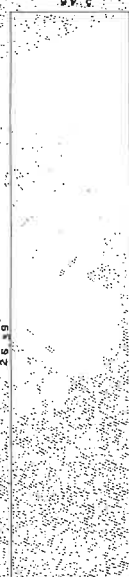
整理番号 301808
各階平面図

建物図面図
各階平面図

家屋番号 21-2

建物の所在 行方郡上野市大字上戸字芝宿21番地2

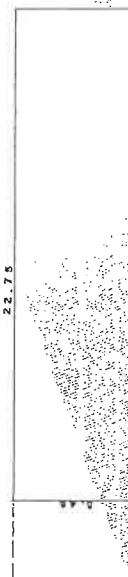
1 階



床面積計算

$$26.39 \times 5.46 = 144.0894 \text{ m}^2$$

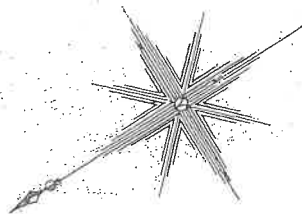
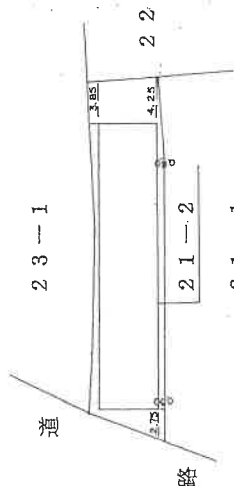
2 階



床面積計算

$$22.75 \times 5.46 = 124.2150 \text{ m}^2$$

物件2(建物)



縮尺 1/500

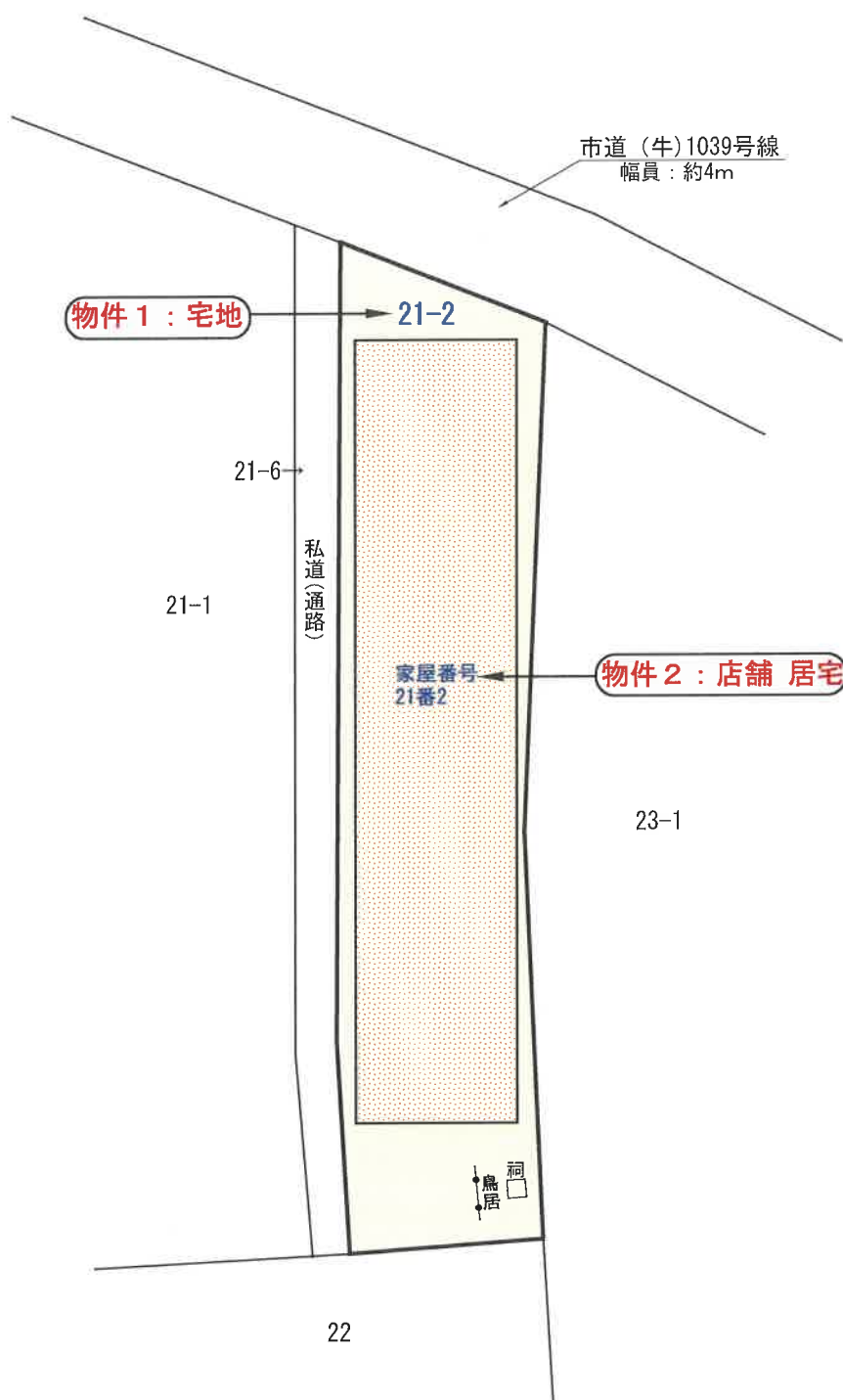
申請人

縮尺 1/250

(複製)

作製者 土地調査士 吉田 宗彦

(茨城県土地家屋調査士会印)



※この図面は現地概測等により作成した概略図であり、境界を確定した実測図ではありません。

建物間取略図

物件2: 店舗 居宅

【2階】

床面積：124.21㎡（登記）



【1階】

床面積：144.08㎡（登記）



※この図面は間取りの概略を示すものであり、一部、現況と異なる場合があります。